

子どものみなさんに本を読むことの楽しさや、本を読むことの大切さを知ってもらうため、家庭、地域、図書館、学校などが協力して、取り組んでいくことをまとめたものです。

めていきます。



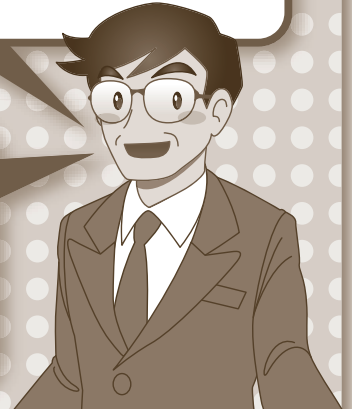
地域ではどういうことに
取り組むのかな？



読み聞かせてって、どんな
意味があるのかな？

赤ちゃんは、お母さんのおなかの中にいるときから、周りの音や声を聞き分けると言われています。
小さな子どもへの読み聞かせは、親と子の心の交流をはぐくみ、落ち着いたふれあいの時間をつくってくれます。

10か月児健診を受けに来た親子に、ボランティアさんによる絵本の読み聞かせを行い、絵本をプレゼントします。
児童会館、子育てサロンなどで本の読み聞かせなどの行事を行います。
児童会館では、学年別の漢字の本や学習ドリルなどの学習図書を充実させます。



学校などではどういう
ことに取り組むのかな？



幼稚園・保育園の子どもたちや保護者を対象に、先生、保育士さんやボランティアさんによる読み聞かせを充実させます。
学校図書館の図書を計画的に増やしていくほか、ボランティアさんの協力により、さらに利用しやすい学校図書館を目指します。

小中学校の子どもたちが、学校の授業で中央図書館を訪問し、知りたいことについて実際に本を使って調べるなどの取組を行います。
子どもたちが学校でも手軽に図書館の本を借りられるように、中央図書館の予約の仕組みを学校にも導入します。

